



令和3年2月号

## 「支援の始まり」

新年度が近づいて新規の方の見学対応を多くしているのですが、私は初回の見学時や面談の際に子どもやご家族にまずは「安心感」と「期待感」を持ってもらいたいと考えています。子どもたちは、新しい場所や人に緊張をしている子もいれば、どんな所なのだろうとワクワクしている子もいます。子どもたちの興味関心がどの様な所にあるのか、何を楽しんでいるのかを観察しながら、私たちの見立てを保護者に共有しながら進めて行きます。保護者の方には事業所がどの様な活動をしているのかを説明するのですが、それ以上に私たちがどの様に子どもを捉えていて、どの様な関わりを持っているのかを説明して見てもらっています。子どもはそれぞれ得意なコミュニケーション手段や人との関わり方が違います。その違いに寄り添った上で「安心感」と「期待感」をどの様な形で伝えて行くのかを、言葉で伝えつつ実際の姿としても見てもらえる様に意識をしています。この行程は、私たちが保護者と共働で支援を行っていく上で大事な事で、子どもの姿や成長の方向性を一致させていく事により良い支援に繋がって行きます。

世の中には様々な情報があり、お子さんの診断名を検索すれば「〇〇はこんな特性がある」「困った行動にはこう対処すれば良い」「こうすれば子どもが伸びる」など、宣伝文句が溢れています。一般的な傾向や特性の話は書籍やネットの中に多く溢れていても、きっと知りたい情報はそこでは無く「目の前のこの子には？」という部分ではないでしょうか。お話をさせて頂く中でもより具体的な対応方法を知りたいという声を多く聞きます。子育ては様々な場面で多くの葛藤が待っています。子どもの成長に伴う変化への向き合い方や家族間での子どもの捉え方、保育園・幼稚園・療育施設・学校との関わり、子どもを取り巻く地域の方々の理解……その中で、「子どもの理解者」と共に「家族の理解者」も増やして行きたいと考えています。私たちは審判ではないので、正しい・間違いの判断をするのではなく、一緒に考える立場として、どうしたら家族が実行をしやすいのかを考えて行きたいと思います。

嵯峨憲司

株式会社メルフィス

狭山市富士見2丁目22番32号サンヴェール富士見201

通所児童課mail:kids-day@melphis.co.jp

**ブログも随時更新中!** ブログではイベントやちょっとした出来事を乗せています。

検索キーワードは

メルフィスの小窓



です。是非ご観覧下さい(^o^)